

2009 日本列島 芸術家名選

美しい日本の心を求めて



ランドサットから見た日本列島全景
この写真はアメリカ航空宇宙局(NASA)が打ち上げた、
ランドサット(地球観測用人工衛星)から見た、
雲一つない日本列島の全景です。
ランドサットから地球に送られてくる一枚一枚の
画像を特殊な画像処理コンピュータの技術を駆使し、
約100枚をつなぎ合わせて作成したものです。
日本の自然環境の現状を理解することが出来ます。
ふるさとの自然を大切にしたいものです。
(写真提供: 科学雑誌「Newton」株式会社「コードプレス」)
※紙面上の都合上、小笠原諸島、尖閣諸島等は割愛しています。

鈴木 睦美



「春寒料峭(田貫湖)」

日本の原風景というべき作品世界。絵筆で歌い上げる自然讃歌は、氏の崇高な精神と卓越した表現力の産物。貫禄と気品に圧倒される。★大潮会元理事長

様々な書体を組み合わせ合わせた独特の造形で、美の新しい形を提唱する破体書。墨と筆、そして書き手の魂がぶつかりあい、解き放たれたエネルギーが紙の中で力強く鼓動する。印象的な墨の濃淡とドラマチックな構成で、言葉の意を独自の解釈で捉え、表現する感性。圧倒され、大きな感動を得られる作品だ。★第五十回破体展出品作



「百禄是荷」

小原 梅城

松坂 優子

雨あがり とうとう落ちた 枯れ葉たち
高い青空 また近くなる
寒い朝 早起きをした ごほうびか
凍った芝生の 生命のほひ
うつりゆく 季節の中で 思い出す
小学校の 大イチョウの木
氷点下 買い物帰りの 歩き道
体温を上げる 子供らの声



神絵 松坂百花

大場 もと

さらさらと砂の動きが変わりゆく
風紋は淡き影をひきつつ
満ち潮の入るをこぼまず北上川の
流れはついに混じることなし
わがかたえに添いて歩める娘をもたず
雲を友としひとりごと言う
つましかる食事うましと八十歳の
幸せを言う夫の日日あり

時に絵画的で、時に詩的な氏の叙情世界に繊細な感覚を思う。その中で、「つましかる」は人として生きる上で忘れてはいけない、謙虚で懐み深い心を感じ、鑑賞していて涙がこぼれる。